

富士みのりこども園の保護者の皆様へ

2020年度に当園が受審した福祉サービス第三者評価の結果についてお知らせいたします。

※以下は、福祉サービス第三者評価機関である㈱学研データサービスが作成した評価結果の概要です。なお、評価結果の詳細につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページ (http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/index.html) からご覧いただけます。

福祉サービス第三者評価結果概要

特に優れている点

体操や学習に取り組み、チャレンジ精神や「できた」喜びを大切に子ども自立へとつなげています

園では「ヨコメネ式教育法」を取り入れて、子どもの生まれ持っている「可能性」を最大限に引き出し、チャレンジ精神を育てています。フラッシュカードや色カード、ひらがなカード、名前カードなどを使って、知的な学習を行っています。幼児クラスになると、体操に取り組み、逆立ち歩き、ブリッジ歩き、側転、回転跳びができるようにしています。これらの取り組みが早期教育のように見えますが、「～ができた」という活動の結果ではなく、がんばって取り組むチャレンジ精神や「できた」ときの喜びを大切に、子どもの自立へとつなげています。

業務負担の軽減を目的に、保育業務支援ソフトを導入しICT化を進めています

職員の業務負担の軽減を図るために、保育業務支援ソフトを導入し、パソコンやタブレット型パソコンで書類作成に活用しています。指導計画や子どもの状況と様子についても、記録と情報の共有方法をこちらに移行しつつあります。そのため書類も少なくなり、情報はパソコンやタブレット型パソコンだけでなく、職員の携帯端末からも閲覧が可能となりました。職員の作業負担が軽減し、業務効率も向上しました。その結果、園は「TOKYO働きやすい福祉の職場宣言」において働きやすい職場に認定されています。

子どもの将来の健康や味覚の基礎として、食については食材にこだわり子どもの成長に即した給食を用意しています

乳幼児期は体や味覚の形成の土台となる重要な時期として、園では安全な食材を使いさまざまな味に触れられるよう配慮しています。食育計画を策定し年齢別の食育目標を立てて、発達に合わせた食事を提供しています。食物アレルギー対応の食事もほかの食事と見た目と同じようにする工夫をして、みんなで楽しく食事ができるように配慮しています。そのほか食の安全・安心に取り組み、園は都の食品衛生自主管理認証制度のマイスターの称号を取得しています。園の食への取り組みは、今回の利用者調査でも保護者から高い評価を受けています。

さらなる取り組みが期待される点

経営層は現場職員の声に応える姿勢をより顕著にされてはいかげしょう

経営層は現場職員には「報告、連絡、相談」の徹底を指導しています。ただ、今回の職員自己評価では、経営層への相談のしづらさなどがあり、経営層との良好な関係構築や風通しの良い職場環境を望む声が見られました。今年度はコロナ禍で職員全体での会議開催を控えたこともあり、園長は改めて直接職員に伝えることの大切さを感じています。園運営を円滑に進め、経営層と現場の意思疎通を図ることが必要と認識しています。今後は現場からの声を直接聞く機会を増やし、積極的に応えるようにされてはいかげしょう。

認定こども園として適正な業務を確認できるように、マニュアルや自己チェック表を見直されてはいかげしょう

業務にあたっての職員の心構えや姿勢は「発展計画」に示されています。その中の自己チェック表は、職員の保育業務の振り返りをするためのものです。しかし園は認定こども園に移行していますので、教育活動についての振り返りも必要です。職員からも、マニュアルなどを現状に合わせて見直しが必要との意見も出ています。マニュアルやチェックリストを再確認し、こども園として必要なことの反映が不足している箇所がある場合には、見直しをされることを期待します。

保護者の就労状況の変化も考えられることから、まず土曜日保育の職員体制について早めに検討されることを期待します

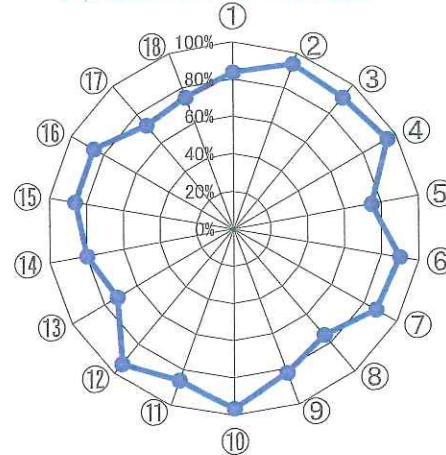
当園では、土曜日保育の職員体制は、朝番、昼番、遅番の3体制で取り組んでいます。正規職員だけではまかなえないので、現在はパート職員の協力を受けて運営しています。現状、土曜保育を必要とする家庭が多いこととともに、保護者の就労状況の変化も考えられることから、土曜日保育も平日と同じように職員体制を組んでいく必要があると園長は考えています。現場職員の負担を軽減するためにも、早めの着手に取り組まれることを期待します。

利用者アンケート結果概要

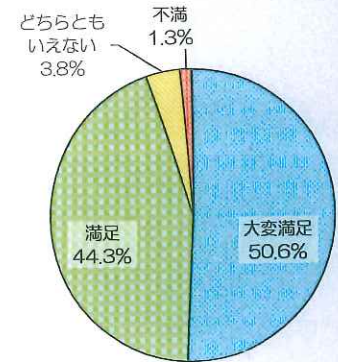
実施期間：2021年1月8日(金)～2021年1月22日(金) 回収率：65.8%

※1月28日到着分まで集計

質問別「はい」の回答率



園に対する総合満足度の結果



〈質問項目〉

- ① 運動や休息の配分は、子どもの発達の状態や在園時間にに応じて工夫されているか
- ② 園での活動は、子どもの教育や心身の発達に役立っているか
- ③ 園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっていくか
- ④ 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか
- ⑤ 園の生活の中で、身近な自然や社会と十分関わっているか
- ⑥ 保育時間の変更が急ぎ必要になった場合、園の可能な限り、柔軟に対応されていると思うか
- ⑦ 安全対策が十分取られていると思うか
- ⑧ 園の活動に保護者が参加しやすいよう、工夫されているか
- ⑨ 子どもの教育・保育について、家庭と園に信頼関係があるか
- ⑩ 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか
- ⑪ 職員の接遇・態度は適切か
- ⑫ 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか
- ⑬ 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか
- ⑭ 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか
- ⑮ 子どもと保護者のプライバシーは守られているか
- ⑯ 教育・保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか
- ⑰ 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか
- ⑱ 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか

利用者アンケートの結果や福祉サービス第三者評価の結果の詳細内容は、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページで公表します※。(福祉サービス第三者評価のページからご覧いただけます)

※結果が公表されるまでに時間がかかる場合があります



「とうきょう福祉ナビゲーション」URL
http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/
パソコンまたはスマートフォンでご覧ください

園からのコメント

大変感謝いたします。第三者評価の結果を拝見し、今年度はコロナの影響でコミュニケーションが減少し、交流と深める機会が減りました。お子さんの様子を伝える事も少なくなりました。お返しに保育者の意見を今後生かしていきます。アンケートのご協力ありがとうございました。

【福祉サービス第三者評価 評価機関】

株式会社学研データサービス R&C評価事業部
(認証評価機関番号 機構05-149)

